

NPO法人 地域活性化支援センター「恋人の聖地」2周年記念

『全国プロポーズの言葉コンテスト』表彰式と  
映画『幸せになるための27のドレス』PRイベント



▲「全国プロポーズの言葉コンテスト」の表彰式。(写真右より)審査員の西川史子さん、假屋崎省吾さん、桂由美先生、「今だから伝えたいプロポーズの部」最優秀賞の高橋愛さんファミリー(岩手県)、「これからプロポーズの部」特別賞の宮間香代さんカップル

えたいプロポーズの部」で、優秀賞27作品、特別賞2作品、最優秀賞1作品が選定された。  
また、タイトルに合わせたこの日(27日)、ジュニアブライドにぴったりの映画「幸せになるための27のドレス」(5月28日レディース先行上映/一部劇場を除く、5月31日より日比谷みゆき座他全国ロードショー/配給:20世紀フォックス映画)のPRイベントも行われ、西川史子さんが白衣ではなく、映画で使用された桂由美先生デザインのウエディングドレス姿で登場。マスコミのカメラ・ビデオが50台以上取り囲む中、楽しいフォトセッションやミニトークショーなども行われた。



▲入賞者には桂由美先生から表彰状を、西川史子さんから副賞が手渡される

〈全国プロポーズの言葉コンテスト〉

●「これからプロポーズ」

神奈川県/宮間香代さん  
月に引力があるように人の出会いにも引力がある。出会うべくして僕らは出会った。僕らは必ずそばにいるから、これからの人生を一緒にゆっくり歩いていこう。

《エピソード》

お互いが好きだと確信した日、付き合った日が満月でした。月が好きな私のために満月の日に夜景の見える場所で逢い、彼から初ラブレターをもらいました。そのラブレターにプロポーズの言葉が書いてありました。

《プロポーズの場所》

赤レンガ倉庫(横浜)

●「今だから伝えたいプロポーズ」

岩手県/高橋 愛さん  
途中参加のババだけど、本当のババにして下さい。

《エピソード》

私はバツイチ子持ちのシングルマザーでした。初婚の彼と付き合って1年。私と結婚するより子供のババになりたいという家族想いの所にジーンとききました。もうすぐ結婚1年です。

《プロポーズの場所》

子供と川の字で寝ていた布団で。

NPO法人の地域活性化支援センターでは、既存の観光拠点や施設の活性化と非婚・少子化に歯止めをかけ、結婚促進を目的に2006年4月より「恋人の聖地」プロジェクトを展開している。これは、若者が魅力を感じ、素敵な出会いが生まれ、プロポーズするのに最適な観光地「恋人の聖地」を全国に100箇所選定することを目標にしており、今年4月1日現在で国内61箇所が選定されている。  
同プロジェクトでは、毎年6月第1日曜日(今年は6月1日)を「プロポーズの日」とし、昨年からは「プロポーズの言葉コンテスト」を実施。昨年は、約500件の感動的でユニークな「プロポーズの言葉」が寄せられ、コンテスト表彰式で受賞者が実際にプロポーズし、12月にゴールインするという嬉しいストーリーも生まれているとい

う。  
今年も、それを上回る671件の応募があり、5月27日(火)、「恋人の聖地」でもある六本木ヒルズ展望台・東京ステイビュー(森タワー52階)で表彰式を開催した。プレゼンターとして審査員の桂由美先生(ファッションデザイナー)、假屋崎省吾さん(華道家・タレント)、ゲスト審査員として西川史子さん(形成外科医・タレント)が出席。未婚の方を対象とした、これからプロポーズの部」と、既婚の方を対象とした「今だから伝



▲西川史子さんが映画「幸せになるための27のドレス」で使用された桂由美先生デザインによるウエディングドレス姿で登場